■吉田秀雄　　〈敗戦〉により｛電通｝社長になると，世界的な広告会社へ発展させ，日本の広告界の確立にも尽力。
よしだひでお
日比谷公園・1903＝　　福岡県小倉市で，鉄道技術関係請負業渡辺勝五郎の次男に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 2歳：
満鉄発足・・1906＝ 3歳：鉄道国有法が公布されたため，

失職した父が，

韓国併合・・1910＝ 7歳：家族を残して台湾に渡るなか，天神尋常小学校に入学。
大逆事件判決1911＝ 8歳：父から招かれ，母に連れられ兄弟みなで台湾に渡るも，
明治天皇没・1912＝ 9歳：
大正政変・・1913＝10歳：外地を転々とする状態に，父を残して家族で小倉に戻り，復学したが，
第一次大戦始1914＝11歳：台湾で父が不慮の死を遂げ，どん底に陥る。
母に支えられ，新聞配達のアルバイト等しながら苦学するも，
民本主義・・1916＝13歳：中学進学を断念して高等小学校に進む。校長から紹介された軍医の養子となり，
ロシア革命・1917＝14歳：県立小倉中学に入学するも，養家に実子ができて養子縁組を解かれ，
本格政党内閣1918＝15歳：見かねた校長から再び紹介されて，素封家吉田一次の養子となったが，

大暴落・・・1920＝17歳：バブル破綻で養家が破産。第七高等学校造士館文科乙類補欠試験を受けて合格し，鹿児島へ旅立つ。
原敬首相暗殺1921＝18歳：この年，帰省した小倉で知人から小林雪枝を紹介される。
貧しい寮生活のなか名物男になった後，学生を支援してくれる家に下宿，
関東大震災・1923＝20歳：小倉に帰省した際，再会した雪枝と急に親しくなり，
護憲三派圧勝1924＝21歳：卒業。東京大学を希望するも成績がクラス最下位だったため，無試験の経済学部商業科に進学。
兄の家に下宿，
円本時代始・1926＝23歳：妊娠させてしまったため，急遽結婚。長男誕生。
妻を養父のもとにおいて，
共産党事件・1928＝25歳：卒業。_不況で就職が決まらず，この年初めて入社試験を実施した日本電報通信社(電通)に応募し，広告界初の東大生として採用され，話題となる。養父が寵愛する長男は小倉において，妻のみ呼びよせる。
海軍軍縮条約1930＝27歳：長女が誕生。日本橋に移住し，生活も落ち着く。
_社内の人望を得，創業者社長光永星郎の厳しい経営を進んで学び，以後一貫して営業(広告)畑で活躍，
満州事変・・1931＝28歳：
五一五事件・1932＝29歳：光永に従い満州へ。
国際連盟脱退1933＝30歳：この年，光永が広告界初の貴族院勅撰議員となるとともに，新本社ビルが完成。
芥川直木賞始1935＝32歳：上海へ特派され，広告公司を創設して帰国。この年，_逓信省の民間企業無線利用制限で，
二二六事件・1936＝33歳：発足した同盟通信社に通信部が吸収され，引き換えに同盟の広告部を吸収して広告専門会社となったが，
日中戦争始・1937＝34歳：日中戦争が始まり，_受難の時代に入る。
健保+総動員 1938＝35歳：この年，光永が日本新聞協会理事長として中国戦線を慰問する間，中国・満州を視察。
第二次大戦始1939＝36歳：
大政翼賛会・1940＝37歳：次男が誕生。光永が社長を退き，実弟光永真三が継ぐ。_奉祝広告で売上急伸させ営業局地方部長となる。
日米開戦・・1941＝38歳：
・・・・・・1942＝39歳：_常務取締役。
創価学会検挙1943＝40歳：_商工省の実施した戦時下の広告取扱業企業整備には実際上の立案者として協力し，
年金+総武装 1944＝41歳：_一連の改革を通じて，広告業界での｛電通｝の絶対的優位を確立する。
敗戦・・・・1945＝42歳：三男が誕生するも，光永星郎が死去し，葬儀を取り仕切る。この年，GHQ指令に同盟通信社が自主解散し，｛共同通信社｝｛時事通信社｝が発足。_上田碩三社長がUP通信と親交あったことから，本社ビル接収免れ，
新憲法施行・1947＝44歳：*上田社長が公職追放令該当となって退陣すると，同族でない外部から初の社長に就任。
極東裁判決・1948＝45歳：

独立回復・・1951＝48歳：*"鬼十則"を発表し，長期にわたって｛電通｝の社是となる。この年，ラジオ局開設に際して三大新聞が競願となり，電通を加えた四社合併でラジオ東京が発足。
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝49歳：_新聞社・広告会社・スポンサー多数集めた｛ABC懇話会(日本ABC協会)｝設立に尽力，
TV放送始・・1953＝50歳：_この年開始された民間初の日本テレビで，服部時計店がスポンサーのCM1号を流すも，裏フィルムで失敗。続く，ラジオ東京テレビ(TBS)の精工舎CMでも同じ失敗をするなどしながらも，街頭テレビの人気と話題で次々スポンサーがつき，急成長始めるも，広告業界の地位は低いままで，不良債権が肥大，
国連加盟・・1956＝53歳：皇太子ご成婚でテレビ台数が急増。初めて海外視察旅行に出，欧米を広範囲に回る。以後，度々海外へ。
なべ底不況・1957＝54歳：
_経団連・日経連の役員を務めて，日本の広告界の確立に尽力，
美智子妃・・1959＝56歳：クラブ化粧品本舗事件に連座し，破産の危機となるが，緊急融資でしのぐ。
安保闘争・・1960＝57歳：_恩人たる正力松太郎の胸像をつくり，日本テレビに寄贈。なお，多額の負債をかかえながら，"広告の鬼"と呼ばれたほどの積極経営とあわせて，｛電通｝を世界的な広告会社へ発展させて注目されるようになり，
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝58歳：*アメリカのタイム誌に取上げられ，国際広告協会(IAA)のマン・オブ・ザ・イヤー賞をアジアで初めて受賞したが，
全国総合計画1962＝59歳：_胃癌となり，
TV宇宙中継始1963＝60歳：_没した。

舟越健之輔「われ広告の鬼とならん」，平凡社百科事典，